アニメーション職業体験実証事業

関連するSDGsの ゴール









解決したい 課題

愛媛県では、毎年約1,000人以上の若年者が就職などをきっかけに県外へ転出し、その多くが地元に戻らず定着しています。流出理由は様々ですが職種や企業の選択肢が少なく、給与やキャリアアップの機会も都市部に比べて乏しいと感じる声が多くあります。近年、成長が著しいアニメーション業界で働くためには、愛媛県内にスタジオが1社もなく、進学・就職と考えると多くの若者が県外で学び、県外で就職する方法しかない状態が続きます。今回の実証事業では、アニメーションの動画を中心とした職業体験を高校生・専門学校生・大学生を対象に実施し、アニメション業界への興味関心を高め、クリエイター不足を解決します。最終的には、連携する企業の松山スタジオ設置までがプロジェクトの最終的なゴールです。

取組概要

合同会社バイブリーアニメーションスタジオと連携し、全4回の職業体験を実施予定です。より多くの参加者(1回40名/合計160名)を受け入れるため、アナログで開催できるように教材を作成します。作画の完成後、講師による講評会を行い作品に対して、フィードバックを行います。授業終了後、参加者全員にアンケートを実施し、アニメーション業界の仕事に興味を持つことができたかの確認を行います。令和7年度より、漫画クリエイター科では、アニメーション I/II/II(全90コマ)をスタートしました。連携先の企業についても今後実施予定のアニメの授業の講師も打診中です。連携先の企業と学校が今後も協力し、松山でもアニメーション業界で必要とされる人材を育成する環境を整備できればと考えています。アニメーションの動画を中心とした職業体験等の教育的な取り組みを足掛かりに松山でアニメーションが学べる環境を整備し、松山にアニメーションスタジオの新設を目指します。